

補助金 **55万円**



テクノストラクチャー ZEH 補助金仕様のご案内

ZEH(ゼッチ)とは?

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」とは、

1年間の消費エネルギーより太陽光発電システムなどによって

住宅でつくるエネルギーのほうが多い、または差がゼロになる住宅のこと。

消費エネルギーが少ないので光熱費が削減できる上に、

今なら 補助金55万円が受け取れるチャンスもあります。

一次エネルギー消費量



ゼロエネルギーハウスは光熱費の削減にも

消費エネルギーを抑えたゼロエネルギーハウスは光熱費にもメリットをもたらします。設備の省エネ性能に加え、高い断熱仕様によって冷暖房費を削減。さらに太陽光発電でつくった電気が余れば、売電収入も得ることができます。

※当シミュレーション及び提案は、光熱費について、「仮想的な設備環境を想定した上でソフトを用いて計算した結果」です。建物の設備仕様、間取り、ライフスタイル等によって光熱費は変わります。示された光熱費が保証されるものではありませんので、ご了承ください。また、周辺敷地の建物による影響は加味していません。

【光熱費比較(円/年)】



<計算条件> 〇地域区分: 6地域 〇間取り: 4LDK 延床面積 128.00㎡ 〇使用プログラム: (株)FANFARE EnergyZOO(光熱費計算プログラム) 【ゼロエネルギーハウス】 〇断熱仕様: テクノストラクチャーZEH補助金仕様(UA値=0.56) 〇主たる居室の暖房設備: ルームエアコン エネルギー消費効率の区分(Ⅰ) 〇その他居室の暖房設備: ルームエアコン エネルギー消費効率の区分(Ⅱ) 〇換気設備: ダクト式第一種熱交換機(温度交換効率89%) 〇給湯設備: エコキュート(JIS効率3.0) 〇高断熱窓: バスの水栓に小流量止水機能を採用 〇照明設備: LED 〇調理設備: 半クッキングヒーター 〇太陽光発電システム: 真南向き4寸勾配の屋根にパナソニック太陽光発電システムHIT245QPlus 24枚(5.88kW)設置 〇電気料金: 東京電力 スマートライフプラン 〇売電単価: 31円/kWh 〇発電量は、平均日射量データとしてNEDO(財)日本気象協会「日射量データ作成調査」の値を用い、システムの自己消費電力が変動すると、金額換算値も変わります。各損失を考慮して算出したものです。また、発電量の金額換算も記載の単価で算出したものであり、気象条件や設置条件、電力単価等により、実際の発電量、発電金額と異なる場合があります。目安としてご参照ください。風や積雪の影響は考慮していませんので、ご了承ください。【従来の住宅】 〇断熱仕様: 平成4年省エネ基準に適合(UA値=0.87) 〇暖房設備: ルームエアコン エネルギー消費効率区分(Ⅱ) 〇換気設備: 壁付け式第3種換気 〇給湯設備: ガス給湯器 JIS効率90% 〇高断熱窓: 〇照明設備: 白熱灯以外 〇調理設備: ガスコンロ 〇電気料金: 東京電力 従量電灯B 〇ガス料金: 東京ガス 一般契約料金 〇水

テクノストラクチャーZEHの特徴

テクノストラクチャーのZEHは、単に消費エネルギーを太陽光発電で補うのではなく、家自体の性能を高め、消費エネルギーをしっかりと削減します。それによって、少ない太陽光発電量でもZEHが可能に。建ててからでは変えにくい断熱性能を建築時に高めておくことで、将来に続くゼロエネを実現でき、また、将来電気料金が高騰しても、消費エネルギーの小さいテクノストラクチャーのZEHなら家計への影響が少なく安心です。

高い断熱性能



優れた断熱性能により、冷暖房にかかるエネルギーをカット。

高い省エネルギー性能



省エネ性、節湯性の高い設備で、毎日の暮らしで使うエネルギーを削減。

5.88kW[※]の太陽光発電システム



太陽の光をエネルギーに変換して、消費エネルギーを超えるエネルギーをつくります。

※3、4地域は6.86kWが標準仕様です。

ZEHを支える高い断熱性能

高い断熱性のテクノストラクチャーZEHは、住まい全体から逃げる熱量を表す外皮平均熱貫流率(UA値)において、省エネルギー基準を大きく上回る性能を保有しています。

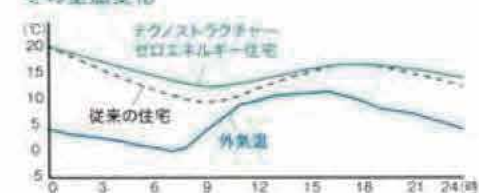


高い断熱性能で住まいを快適に

断熱性能が高い住まいは保温性が高く、外気温の変化を受けにくくなります。エアコンを切っても快適な温度がある程度保たれるので、体への負担が減り、快適性がぐっとアップします。

当シミュレーションは、室内温度について、「仮想的な環境を想定した上でソフトを用いて計算した結果」です。示された室温が保証されるものではありませんので、ご了承ください。<計算条件> 〇地域区分: 6地域 〇間取り: 4LDK 延床面積 128.00㎡ 〇使用プログラム: (株)FANFARE EnergyZOO(室温シミュレーター) 〇断熱仕様: 【ゼロエネルギー住宅】 テクノストラクチャーZEH補助金仕様 (Q値=2.09) 【従来の住宅】 平成4年省エネ基準に適合 (Q値=3.21)

冬の室温変化



パナソニックの高効率省エネルギー設備

太陽光発電システム

わが家がつくったエネルギーを
わが家を使い、余ったエネル
ギーは売電します。



蓄電池で毎日の節約と非常時への備えを

自宅に蓄電池があれば、万が一の停電時にも電気を使えます。また、安い深夜電力を溜めて電気代の高い時間帯に使うことで毎日の節約に役立ちます。



断熱性能を高める 複層樹脂サッシ

壁の断熱性能を高めるだけでなく、
高い断熱効果を発揮するサッシを
採用。窓まわりのカビや汚れの原因
となる結露も大幅に軽減します。



地域の特性に合った換気システム

給気と排気を機械で行い、住まい全体をよどみなく換気する第1種
換気が標準仕様。更に熱交換換気システムの採用で、換気による外
気温の影響を減らすこともできます。
地域の気候やご要望に合わせて2種類からお選びいただけます。



温冷感センサー付きリビングエアコン 【Xシリーズ】

エコナビがすばやく人の居場所を見つけ、ムダ
なくしっかり温風を届けます。



エネルギーをモニタリングするHEMS

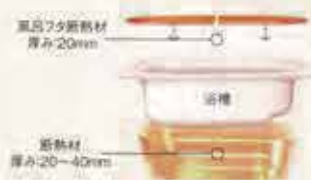
住まいで使用しているエネルギーが見えるHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)。パナソニックのスマートHEMSなら様々な機器をコントロールすることもできます。



注)・上記は概念図であり実際の機器構成ではありません。
・掲載写真の画面は、はめ込み合成です。実際の画面とは異なる場合がございます。
・AISEGの画面は宅外から見ることはできません。

高断熱浴槽 + 手元止水付きシャワーヘッド

断熱材で被った浴槽を採用する
ことで、お湯が冷めにくく、お湯を
つくるエネルギーを削減できます。



※断熱材のイラストはイメージです。実際の色とは異なります。

Oflora

手元で出し止めできる
一時止水ボタンで、
シャワーの出しっぱなしを防ぎます。



※プランによって標準仕様ではない場合があります。

長寿命で省エネなLED照明

省エネ・長寿命なLED照明を全室に採用。
更に調光機能でエネルギーを削減します。



空気の熱でお湯を沸かす エコキュート

エネルギー削減だけでなく、深夜電力を
利用することで、光熱費の削減にも。



お湯の無駄遣いを減らす水栓

レバー中央部を水のみが出る設定にすることで、知らない間に
使ってしまうお湯の使用を防ぎます。

※プランによって標準仕様ではない場合があります。

キッチン

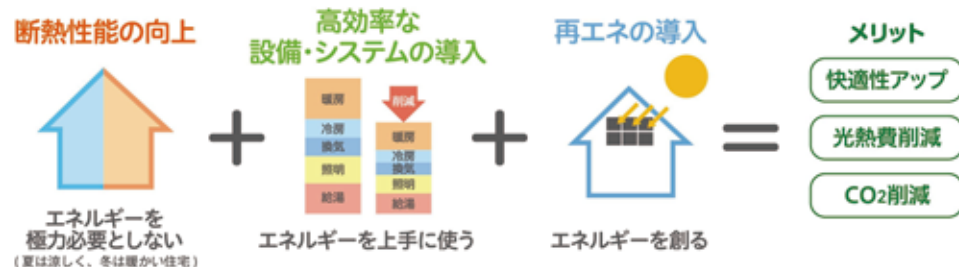


洗面化粧台



ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) とは

外皮の断熱性能の大幅な向上と、高効率な設備・システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネを実現(省エネ基準比20%以上)。その上で、再エネを導入して、年間の一次エネルギーの収支をゼロとすることを目指した住宅をZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)といいます。



新築戸建住宅を建築・購入等^{※1}する個人が対象の補助事業

※1 新築住宅の販売者となる法人を対象とする補助事業を含む

1	ゼッチ ZEH支援事業	(P3参照)
申請対象者	・新築戸建住宅を建築・購入する個人 ・新築戸建住宅の販売者となる法人	
対象となる住宅	ZEH	
補助額 ^{※2}	55万円/戸+α	
対象となる住宅	ZEH+	
補助額 ^{※2}	90万円/戸+α	

2025年の ZEH補助金

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス



※2 ZEH、ZEH+又はZEH-Mの要件を満たした住宅に、蓄電システム、直交集成板(CLT)、地中熱ヒートポンプ・システム、PVTシステム、太陽熱利用システム、V2H充放電設備、EV充電設備等を導入する場合、補助額を加算します(その他は各事業ページ参照)。

新築集合住宅を開発する事業者等が対象の補助事業

2	ゼッチ・マンション 高層ZEH-M支援事業	(P5参照)
対象となる住棟	住宅用途部分が6層～20層のZEH-M	
補助額 ^{※2}	補助対象経費の1/3以内	
補助額上限	・40万円/戸又は50万円/戸(ハイクレード仕様を満たす場合)(詳細はP5参照) ・3億円/年、8億円/事業 ・補助事業の費用対効果	
	*事業期間は最長4年とする	
3	ゼッチ・マンション 中層ZEH-M支援事業	(P6参照)
対象となる住棟	住宅用途部分が4層～5層のZEH-M	
補助額 ^{※2}	・40万円/戸 ・50万円/戸(ハイクレード仕様を満たす場合)(詳細はP6参照)	
補助額上限	3億円/年、8億円/事業	
	*事業期間は最長4年とする	
4	ゼッチ・マンション 低層ZEH-M促進事業	(P6参照)
対象となる住棟	住宅用途部分が1層～3層のZEH-M	
補助額 ^{※2}	40万円/戸	
補助額上限	3億円/年、6億円/事業	
	*事業期間は最長3年とする	

各補助事業の主なポイント

① ZEH支援事業

区分	ZEH	ZEH+
補助額	55万円/戸 (追加補助についてはP4を参照)	90万円/戸 (追加補助についてはP4を参照)
対象となる住宅	「ZEH」 Nearly ZEH (寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る) ZEH Oriented (都市部狭小地等の二階建以上又は多雪地域に限る)	「ZEH+」 Nearly ZEH+ (寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る)
申請対象者	新築住宅を建築・購入する個人	新築住宅の販売者となる法人
交付要件の主なポイント	① 戸建住宅における「ZEH」の定義を満たしていること I. 一次エネルギー消費量削減率(再エネ除く): 20%以上 一次エネルギー消費量削減率(再エネ等含む): 100%以上* II. 外皮基準: 断熱等性能等級6以上 ※ Nearly ZEHは75%以上100%未満、ZEH Orientedは再生可能エネルギー未導入でも可	① 戸建住宅における「ZEH+」の定義を満たしていること I. 一次エネルギー消費量削減率(再エネ除く): 30%以上 一次エネルギー消費量削減率(再エネ等含む): 100%以上* II. 外皮基準: 断熱等性能等級6以上 III. 以下の④、⑤のうち1つ以上採用すること(詳細はP4を参照) ④ 再生可能エネルギーの自家消費の拡大措置 以下より1つ以上を措置すること ④-1. 初期実効容量5kWh以上の蓄電システム ④-2. PVTシステム ④-3. 太陽熱利用システム ④-4. 昼間に湯き上げをシフトする機能を有する給湯機 ④-5. 電気自動車(PHEVを含む)の充電設備又は充放電設備 ⑤ 高度エネルギーマネジメント ※ Nearly ZEH+は75%以上100%未満
公募方法	② 共通 SIIに登録されているZEHビルダー/プランナーが関与(建築、設計または販売)する住宅であること 先着方式 (一般公募及び新規取組公募に分けて実施する)	



【参考】外皮基準

ZEH強化外皮基準

地域区分	1	2	3	4	5	6	7	8
外皮平均熱貫流率 (Ua値)	0.40以下	0.50以下			0.60以下			—
冷暖期の平均日射熱取得率 (ηac値)	基準値なし			3.0以下	2.8以下	2.7以下	2.6以下	—

断熱等性能等級6以上

地域区分	1	2	3	4	5	6	7	8
外皮平均熱貫流率 (Ua値)	0.28以下			0.34以下		0.46以下		—
冷暖期の平均日射熱取得率 (ηac値)	基準値なし			3.0以下	2.8以下	2.7以下	2.6以下	—

詳細については、各補助事業の公募要領を必ずご確認ください

一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)/経済産業省および環境省による戸建ZEH補助事業より抜粋 詳しくはお問い合わせください。

ZEH+の補助額例

・ZEH+に④-4給湯機を導入した場合	92万円
・ZEH+に④-1蓄電システム、⑤高度エネルギーを導入した場合	最大112万円
・ZEH+に④-1蓄電システム、④-4給湯機、⑤-5充電設備を導入した場合	最大122万円
・ZEH+に④-2PVTシステム(90万円/戸)、⑤-5充電設備を導入した場合	最大190万円

ZEH/ZEH+の追加補助額及び補助対象

追加設備等	追加補助額	ZEH+		
		補助対象	補助対象	選択要件
直交集成板(CLT)	定額90万円/戸	●	●	—
地中熱ヒートポンプ・システム	定額90万円/戸	●	●	—
蓄電システム	上限20万円/戸	●	●	①-1※
PVTシステム	65万円/戸、80万円/戸、90万円/戸 (注)方式、パネル面積により異なる	●	●	①-2
太陽熱利用システム	液体集熱式	●	●	①-3
	空気集熱式	—	●	①-3
再生可能エネルギー有効活用のため昼間に湯き上げをシフトする機能を有する給湯機	定額2万円/戸	—	●	①-4
電気自動車(PHEVを含む)の充電設備又は充放電設備	上限10万円/戸	—	●	①-5
高度エネルギーマネジメント	定額2万円/戸	—	●	②

※ ZEH+の選択要件として「蓄電システム」を導入する場合は、初期実効容量5kWh以上であること

①-1～①-5は、ZEH+の選択要件「再生可能エネルギーの自家消費の拡大措置」に該当

②は、ZEH+の選択要件「高度エネルギーマネジメント」に該当

ZEH/ZEH+の定義

ZEHの定義	ZEH+の定義
「ZEH」以下の①～④のすべてに適合した住宅 ① 強化外皮基準(1～8地域の平成28年度エネルギー基準(ηac値、気密・防湿性能の確保等の留意事項)を満たした上で、Ua値1.2地域0.4[W/mK]以下、3地域0.5[W/mK]以下、4～7地域0.6[W/mK]以下) ② 再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量削減 ③ 再生可能エネルギー等を加えて、基準一次エネルギー消費量から100%以上の一次エネルギー消費量削減 ※ エネルギーに係る設備については所有者を問わず、当該住宅の敷地内に設置されるものとする Nearly ZEH 「ZEH」の①、②、③以下の④に適合した住宅 ④ 再生可能エネルギー等を加えて、基準一次エネルギー消費量から75%以上100%未満の一次エネルギー消費量削減 ※ エネルギーに係る設備については所有者を問わず、当該住宅の敷地内に設置されるものとする ZEH Oriented 「ZEH」の①、②に適合した住宅 ※ 再生可能エネルギー未導入でも可 ※ エネルギーに係る設備については所有者を問わず、当該住宅の敷地内に設置されるものとする ※ 都市部狭小地等(北側斜線制限の対象となる用途地域等(第一種及び第二種低層住宅専用地域、第一種及び第二種中高層住宅専用地域並びに地方自治体の条例において北側斜線規制が定められている地域)であって、敷地面積が85㎡未満である土地。ただし、住宅が平屋建ての場合は除く)、または多雪地域(建築基準法で規定する積雪荷重が100cm以上に該当する地域)に建築された住宅に限る	「ZEH+」以下の①～④のすべてに適合した住宅 ① 外皮性能について断熱等性能等級6以上であること ② 再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量から30%以上の一次エネルギー消費量削減 ③ 再生可能エネルギー等を加えて、基準一次エネルギー消費量から100%以上の一次エネルギー消費量削減 ④ ZEH+の選択要件2要素のうち1要素以上を採用すること ※ エネルギーに係る設備については所有者を問わず、当該住宅の敷地内に設置されるもの Nearly ZEH+ 「ZEH+」の①、②、③以下の④に適合した住宅 ④ 再生可能エネルギー等を加えて、基準一次エネルギー消費量から75%以上100%未満の一次エネルギー消費量削減 ※ エネルギーに係る設備については所有者を問わず、当該住宅の敷地内に設置されるもの

登録制度について

ZEHビルダー/プランナーとは

2030年ZEH普及目標の実現に向けて、2025年度の自社ZEH受注目標50%以上(又は75%以上)を掲げるハウスメーカー、工務店、建築設計事務所、販売住宅販売事業者等のこと。SIIは「ZEHビルダー/プランナー」を公募、登録、公表いたします。



ZEHビルダー/プランナーに関する詳細はZEH Webをご覧ください。
<https://zehweb.jp/registration/builder/public.html>

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ZEHビルダー/プランナー登録(フェーズ2)												
実績報告	～7/25											
●第1回実績公表	6/27											
●第2回実績公表	7/25											
新規登録	第1回～5/22	新規登録 第2回以降	公表スケジュールはZEH Webをご確認ください									
●第1回新規公表	6/6											

詳細については、各補助事業の公募要領を必ずご確認ください

一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)/経済産業省および環境省による戸建ZEH補助事業より抜粋 詳しくはお問い合わせください。

ZEHビルダー／プランナー ZEH目標・普及実績

1. ZEHビルダー／プランナー情報

ZEHビルダー／プランナー登録番号	ZEH28B-02983-CTR
事業所名	丸勝建築株式会社

2. ZEH目標・普及実績割合

新築…注文戸建住宅 新築…建売戸建住宅 既存…既存戸建住宅の改修

ZEHシリーズ…『ZEH』（『ZEH+』を含む）、Nearly ZEH（Nearly ZEH+を含む）及びZEH Oriented

ZEHシリーズ普及実績										ZEHシリーズ普及目標	
2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
新築	0%	新築	0%	新築	0%	新築	0%	新築	0%	新築	50%
既存	0%	既存	0%	既存	0%	既存	0%	既存	0%	既存	50%